



7月 ほけんだより

社会福祉法人
伊東つくし会
2023年7月

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気をつけましょう。プールや水遊びも始まります。元気に楽しみたいですね！

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼうし、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうしができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。



こんな時は水遊び・プールはできません

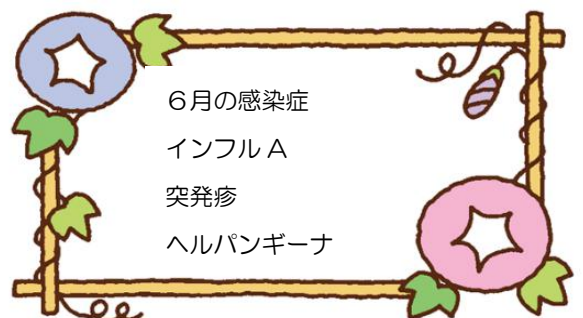
- * 体温が 37.5 度以上ある
- * 下痢をしている
- * とびひ等、伝染性の皮膚疾患がある
- * 傷がある
- * 目、鼻、耳に病気がある(医師の許可があれば可)
- * 目やに、充血がある
- * 咳をしている、ゼーゼーする
- * 鼻水がひどい
- * 食欲がない、元気がない
- * 治療薬をのんでいる(貼り薬も含む)
- * 視診表の水遊び、プール欄にチェックがない

チェックが、水遊び・プール可になっていても、職員が子どもの健康状態をもう一度確認し、チェック項目に該当する時には、中止させていただくことがありますので、ご承知ください。



水いぼがあってもプールに入れますがラッシュガードやTシャツを着て、水いぼが隠れるようにお願いします。

慢性疾患(喘息やアレルギーなど)の定期的ののんでいる薬は大丈夫です。風邪薬などをのんでいる時にはできません。



6月の感染症
インフルA
突発疹
ヘルパンギーナ

